

2024年3月13日
株式会社日本政策金融公庫

地域金融機関CLOを発行

～42の地域金融機関と連携し、中小企業者向け無担保資金供給の円滑化を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業は、本日（3月13日）、地域経済活性化の担い手となる中小企業者への無担保貸付債権を裏付けとするCLO（貸付債権担保証券）を発行しました。

本CLOは、中小企業者への無担保資金の円滑な供給を目的に、地域金融機関、日本公庫及び機関投資家による証券化手法を活用した連携商品です。

組成規模は、貸付債権額 454.72 億円（昨年度 410.18 億円）、貸付社数 2,397 社（昨年度 1,943 社）、参加金融機関 42 機関（昨年度 39 機関）と、平成 16 年の証券化支援業務開始以降、貸付債権額・貸付社数において過去最大となりました。

背景としては、担保に依存しない資金繰り支援ツールとして、地域金融機関の利用ニーズが高まっていること、本CLOはSDGs^{（注1）}への貢献などが評価され、ソーシャルボンド評価^{（注2）}を取得していることから、機関投資家の投資ニーズにも対応していることなどが考えられます。

日本公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも証券化手法を活用して、地域金融機関による中小企業者への無担保資金の円滑な供給を支援して参ります。

【本CLOの概要】

CLO発行日	令和6年3月13日
発行会社	合同会社クローバー2024
貸付債権額	454.72億円
発行社債	優先社債：200億円（AAA）、利率0.62% シニア劣後社債（※）：52億円（AA+）、利率0.72% （※）日本公庫が元利金を全額保証
参加金融機関数	42機関

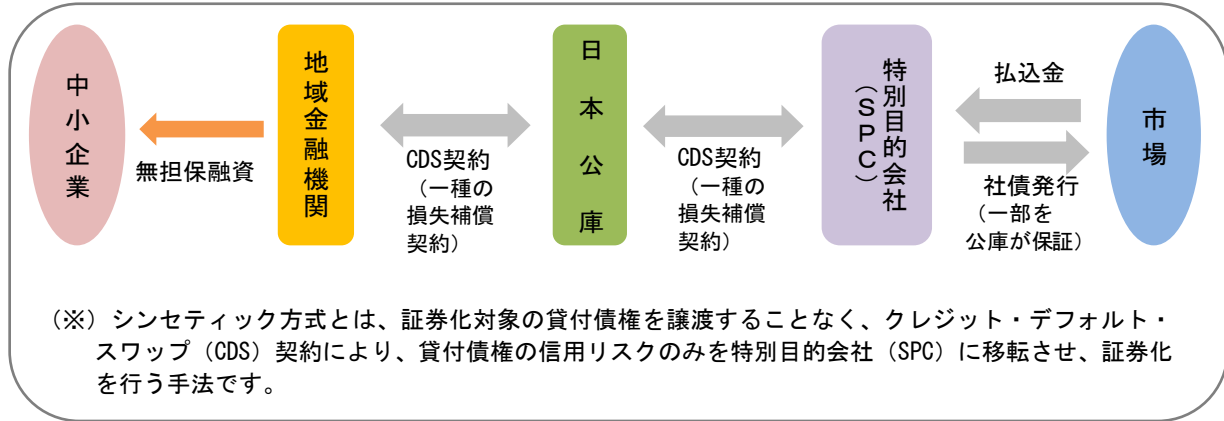
（注1）SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」への貢献などが評価されました。

（注2）R&I（格付投資情報センター）が、本スキームの社会貢献性などを評価したものです。本件は、SDGs 目標への貢献に加え、地域金融機関を通じた中小企業者の円滑な無担保資金供給などによる地域活性化効果が評価され、6年連続で取得しています。



参考

<本CLO（シンセティック方式（※））のスキーム図>



<都道府県別参加金融機関一覧>

北海道	北海道信用金庫	山梨県	山梨県民信用組合
	旭川信用金庫		十六銀行
	帯広信用金庫		高山信用金庫
青森県	青森県信用組合	岐阜県	飛騨信用組合
岩手県	東北銀行	静岡県	清水銀行
宮城県	七十七銀行	愛知県	愛知信用金庫
秋田県	秋田県信用組合	滋賀県	長浜信用金庫
山形県	山形銀行	京都府	京都北都信用金庫
	米沢信用金庫	大阪府	大阪信用金庫
栃木県	栃木銀行		大阪シティ信用金庫
群馬県	しののめ信用金庫	兵庫県	姫路信用金庫
埼玉県	川口信用金庫		西兵庫信用金庫
千葉県	京葉銀行	奈良県	大和信用金庫
東京都	朝日信用金庫	鳥取県	鳥取銀行
	城南信用金庫	岡山県	笠岡信用組合
	瀧野川信用金庫	山口県	西中国信用金庫
神奈川県	横浜信用金庫	香川県	香川銀行
	かながわ信用金庫		観音寺信用金庫
富山県	北陸銀行	高知県	四国銀行
	富山信用金庫	福岡県	筑邦銀行
石川県	のと共栄信用金庫		福岡信用金庫

（都道府県は都道府県コード順、同一都道府県内の金融機関は金融機関コード順）